10 October 2017
第762号
平成29年10月1日発行
（毎月1日発行）

［広報］

さめがわ

Public Relations SAMEGAWA

■特集

青生野小学校 統合に向けて

現在の複式学級の授業風景（青生野小学校）

青生野小学校統合へ

青生野小学校の閉校が議会で決定しました

今年6月に開催された村議会定例会の本会議において、「鮫川村立小学校及び中学校条例の一部を改正する条例」が可決されたことにより、来年4月から青生野小学校を鮫川小学校に統合することが正式に決定されました。

青生野小学校は「地域に小学校が必要だ」という地域の強い思いから、今まで統合を見送り、住民の努力によって守られてきました。しかし、少子化現象は止まらず、児童数の減少により複式学級の維持も困難となってきたことから、住民の話し合いの末、統合されることになりました。



来春から1校体制へ移行

村内の小学校の体制は、平成15年4月1日に富田小学校、渡瀬小学校、西野小学校、西山小学校、鮫川小学校が統合してからは、鮫川小学校と統合を見送った青生野小学校の2校体制を続けてきました。しかし、青生野小学校の閉校が議会で可決されたため、来年の春から村内の小学校は、鮫川小学校1校体制での新たなスタートを迎えることになりました。

青生野小学校の現状

現在、青生野小学校の全校児童数は8人。6年生、5年生、3年生、2年生にそれぞれ2人の児童がいます。学級は2・3年と5・6年の2つとなり、基本的に1人の先生が2つの学年を同時に指導する複式学級となっています。複式学級では、それぞれ指導内容が異なるため、教頭先生や県から配置された非常勤講師の先生が指導に加わるなどして工夫して授業を進めています。

保護者たちの思い

「誰かがいつか動かなければいけないと、ずっと感じていました」そう話すのは、青生野小学校PTA会長の森田智史さんです。子どもを持つ親にとって、小学校の入学は一つの悩みどころだったと言います。

青生野の子どもたちは、小学校に入学すると、それまでこどもセンターで仲良くしていた友達と離れ離れになってしまいます。また、中学校に進学すると、今度は鮫川小学校に通っていた生徒のグループの中に、1人や2人で飛び込んでいかなければいけません。

「子どもにとっての6年間は、人生の半分を占めるほど長い期間です。青生野小の子どもたちは、中学校に入ってから、大きな環境の変化に対し、ストレスを感じていました」このような問題について、森田さんは以前から、頭を悩ませてきました。



青生野小学校PTA会長
森田智史さん（世々麦）

「鮫川の子」としての一体感

森田さん自身も青生野小学校の卒業生であり、母校がなくなることに寂しさを感じています。しかし、村の子どもたちの今後を考え、断腸の思いで決断をしました。

森田さんは、青生野小学校の子どもたちは、どうしても「青生野の子」というイメージで見られてしまうと言います。しかし、これからは、皆同じ学校で生活を共にしますので、そういった見方はなくなっていくと考えています。

「村の子どもたち皆が『鮫川の子』としてより強い一体感を持ち、そこから故郷を思う機会が増え、地元に根付く要因となってくれることを期待しています。本当の意味での『鮫川小学校』として、第一歩を力強く踏み出してほしいです」と、森田さんは小学校の統合に向けて、大きな期待を寄せます。







右_今年最後となった青生野小学校の運動会／**左**_青生野小学校は先生との距離も近く、強い信頼関係が育まれます／**下**_鼓笛パレードでは、横断幕に続き前を進む青生野小学校の児童たち

地域の中心だった青生野小

「小学校がなくなるということは、考えていた以上に大変なことでした」そう話すのは青生野区行政区長を務める白坂伸治さん。

閉校の準備を始めて、改めて小学校が地域に深く関わっていたことを思い知ったという白坂さん。実際に、区の運動会や球技大会動など、いつも中心になっていたのは青生野小学校でした。

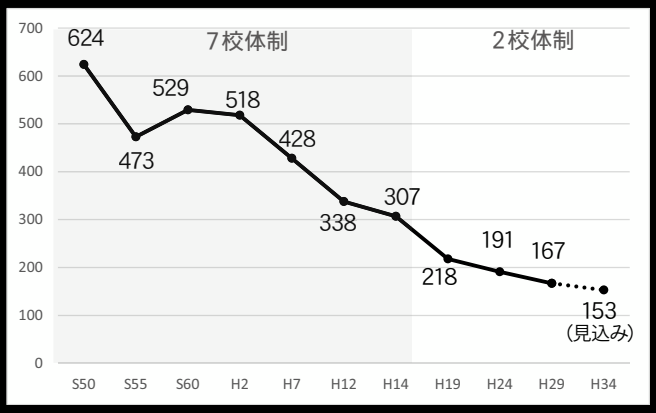
「閉校については、とても残念ですが、仕方のないことだと、捉えています」白坂さんが区長に就いたのは、ちょうど小学校の統合について、具体的な話し合いを始めた時期でした。保護者の皆さんから相談を受けて、3月の区の総会で話し合いが行われました。「区民からすればショックは大きかったです。しかし、小学校の現状について聞くと、子どもたちが鮫川小学校に通うことについて、反対する意見はほとんどありませんでした」と、白坂さんは会議を振り返ります。

今は記念誌と3月の式典の準備で大変だと言う白坂さん。「式典が終わると今度は跡地の利用方法や、区のイベントについて考えます。イベントは、小学校なしで実施可能か、どうやって実施すればよいかなど、検討しなければいけないことが山積みです」と話し、白坂さんは頭をひねります。


区の運動会は毎年、小学校と一緒に行われていました

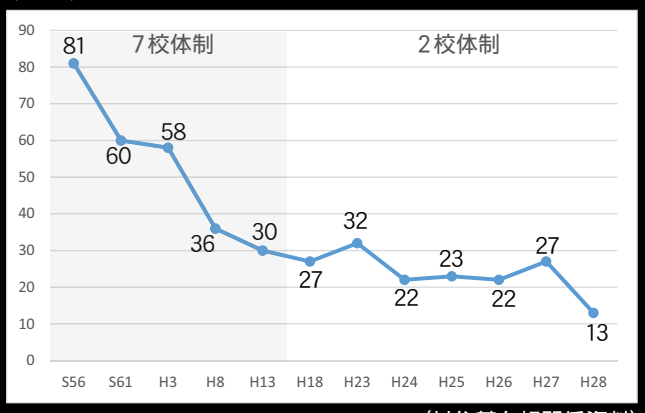

青生野区行政区長
白坂伸治さん（江堀）

（図2）村の小学校児童数の推移



（学校基本調査5月1日現在）

（図1）村の出生数の推移



（村住基台帳関係資料）

青生野小だけではない、村の少子化問題の現状

昨年の村の出生数はわずか13人のみ

小学校統合の要因である少子化の問題は、青生野地区に限られた話ではありません。村全体においても、少子化はかなり深刻な状況を迎えています。

平成に入ってからは村の出生数は減少傾向が一段と強まり、昨年の村の出生数は年間で13人でした。これは、10年前と比較して、およそ半分程度まで減少しています。（図1）

また、出生数の減少とともに、村の小学校児童数も減少を続けています。15年前の小学校統合時は300人を超えていた児童数も、現在では167人まで減ってしまいました。5年後には、153人まで減少する見込です。（図2）今後、村民の転出などに歯止めがかからなければ、少子化はさらに進んでしまう恐れがあります。

近い将来、村から子どもたちの姿が消えてしまう日が、現実問題として起ころうとしているのです。



Voice **村教育委員会**
教育長　奥貫　洋

児童への対応は万全を尽くします

小学校の統合で、もっとも気を付けなければいけないことは、環境が変わり不安を感じる児童への対応です。２人しかいなかった学級から、30人の学級に飛び込むわけですから、子どもたちにも準備が必要です。

交流授業をはじめ、机やロッカーの整備など、来春からの新しい環境へ児童がなじみやすいように、既に取り組みを始めています。また、「特別扱い」「お客様扱い」とならないよう、他の児童と同様に役割を持たせるなど、新しい環境での自信をつけられるように心掛けています。





9月25日に行われた全学年対象の交流授業の様子／**左**_２年生はレクリエーションで交流を深めました／**右**_５年生は複式学級ではない、単式学級の授業を経験しました

統合に向けた検討

来春からの統合に向けて、今後、次の検討事項について話し合われます。▼ＰＴＡ会則▼児童の通学方法（スクールバスの運行経路・時間）▼小学校間の交流事業・授業▼記念事業について（式典・記念誌）▼地域活動▼青少年健全育成活動▼施設の跡地利用▼学校備品の保管・廃棄についてなど。

問 村教育課☎㊾３１５１

（表1）村の年齢階層別人口の推移

区分	平成12年		平成17年		平成22年		平成27年	
	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率	実数	増減率
総数	4,602人	−2.1%	4,322人	−6.1%	3,989人	−7.7%	3,577人	−10.3%
15歳～64歳	2,576人	−9.5%	2,420人	−5.4%	2,249人	−7.1%	1,925人	−14.4%
うち15歳～29歳(a)	665人	−1.9%	656人	−0.3%	570人	−13.1%	397人	−30.4%
若年者比率(a)／総数	14.5%		15.2%		14.3%		11.1%	

（国勢調査10月１日現在）

若者世代の村離れが加速、止まらない人口減少

少子化の背景には若者世代の減少も

問題は少子化だけではありません。若者世代の村離れが、この10年間で加速しているという現実があります。進学や就職、結婚、通勤の利便性、家を建てる際に村内に場所がない、など理由は様々考えられますが、重要なことは村内から確実に若者が減っているという事実です。５年に１度、村内のすべての世帯状況について調査する国勢調査によると、平成22年から27年の５年間で、村内で生活する15歳～29歳の若者の数が30・４％も減少したという調査結果が出ています。（表１）

ここ数年、村の人口は年間１００人以上減り続けています。このままでは、５年以内に村の人口は３千人を下回る見込みです。村の活力を維持していくためにも、家族の在り方や子どもたちの郷土愛の育成など、私たちはいま一度考え、見つめ直さなければいけない時期に差し掛かっていると言えるでしょう。

アイディア料理コンテスト作品募集



テーマ　村特産品「達者の納豆」を使ったオリジナル料理（デザート含む）▼「達者の納豆」を加工した乾燥納豆も含みます。▼未発表のものに限ります。▼1人（団体）何点でも出品できます。

募集期間　10月2日㈪～10月20日㈮必着

応募資格　鮫川村に在住、または通勤・通学している人※家族・友人・団体での参加も可能です。

応募方法　応募用紙に必要事項を記入し、募集期間中に村役場農林商工課まで提出してください（メール・ファクス可）。その後、応募者に出品票を配布しますので、審査日当日に作品と併せて持参してください。

作品の出品および審査日　審査日当日の9時～9時30分の間に、作品1点（2人分程度）を任意の器に盛り付けて会場に持参してください。▼審査日…10月25日㈬▼審査（作品出品）会場…村公民館

賞　▼入賞者…賞金および副賞▼応募者…参加賞

表彰式　表彰式は11月12日㈭に村公民館で行います。また、入賞作品は同日開かれる「鮫川の郷土料理を楽しむ会」において、試食します。

問村農林商工課商工観光係☎㊾3113／FAX㊾3363

手・まめ・館
アイディア料理コンテストフェア開催



豆腐とシソの葉の肉巻カツ(H28)

手・まめ・館でアイディア料理コンテストの受賞作品が食べられます。

期間　10月10日㈫～13日㈮
場所　手・まめ・館（食堂・直売所）
内容　日替わりランチ（500円）で提供
▶豆腐とシソの葉の肉巻カツ（H28）▶豆だんご（H20）▶おから漬け（H28）▶達者の五目味噌（H23）／直売所で販売（500円）▶米粉で作る味噌シフォンケーキ（H25）　※（　）内は受賞年度

問村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎㊾2556／村農林商工課商工観光係☎㊾3113

お買いものスタンプカードの交換品が増えました

9月1日から、手・まめ・館のスタンプカードの交換品が増えました。

交換品　▶1枚…豆腐または豆菓子▶2枚…きな粉飴またはきな粉（小）▶3枚…きな粉（大）▶4枚…味噌1kgまたは食堂・喫茶店で使える食事券

問村農産物加工・直売所「手・まめ・館」☎㊾2556

地域見守り協力に関する協定



村と鮫川郵便局、石川郵便局は、9月1日、地域見守り協力に関する協定を締結しました。

郵便局員が配送業務中に、住民や道路の異変に気づいたとき、役場担当課と速やかに連絡します。鮫川郵便局長は「地域のために積極的に協力したい」と話します。

ソーラー充電器・ランタン寄付





会津電力株式会社は9月21日、ソーラー充電器とランタンを村に寄付しました。スマートフォンの充電や、明かりの確保に利用できるため、今後は村で管理し、災害の発生時などに役立てます。

鼓笛パレードで交通安全を呼びかける

秋の全国交通安全運動期間に先立ち、９月15日、村交通対策協議会と棚倉地区交通安全協会鮫川支部主催の「交通安全鼓笛パレード」が行われました。

交通安全関係団体などから約20名が参加し、横断幕を先頭に青生野小と鮫川小の児童鼓笛隊の演奏に合わせて広畑地内から鮫川小までを行進し、村民に交通安全を呼びかけました。沿道には児童の保護者などが応援にかけつけ、子どもたちの元気な演奏が村に響きました。


広畑地内から鮫川小学校まで子どもたちの行進が続きます

平成29年度敬老会

７３７人の長寿を祝う

平成29年度敬老会は９月９日、村農業者トレーニングセンターで開かれました。今年は満75歳以上の７３７人（男性２９８人、女性４３９人）を招待。村の最高齢は本多清一さん（水口）と高坂ミチさん（水口）で満１００歳です。敬老会では、大樂村長があいさつし、米寿代表の矢吹一二さん（仁田）と80歳代表の板橋三千代さん（道少田）に記念品などが贈呈されました。高杉晃さん・タカ子さん夫婦（大竹）には金婚夫婦を代表して福島民報社などから表彰状と記念品が手渡されました。

また、舟木花さん（鮫川中３年）、森田朱音さん（青生野小３年）、須藤百香さん（鮫川小６年）の３人が作文を読み上げ、日頃の感謝の気持ちを伝えました。

敬老会終了後には、ふるさと文化芸能クラブや各地区の高齢者支援団体の歌や踊り、寸劇によるアトラクションが行われ、参加者は楽しいひとときを過ごしました。





上_村長から記念品を受け取る米寿代表の矢吹一二さん
下_アトラクションが次々と披露され、会場を盛り上げました

宗田悦次さんに旭日単光章（きょくじつたんこうしょう）

９月25日、宗田悦次さん（広畑）に旭日単光章が贈られました。旭日単光章とは、国の勲章の一つで、国または公共のために功績があった人に贈られます。



宗田さんは、東石区の副区長、区長をそれぞれ２期、議会議員を３期・12年務め、地域、村の発展に大きく貢献したことが認められました。宗田さんは「これも支援してくださった皆さんのおかげです。」と、受章を喜びました。

高坂ミチさんの百歳を祝う



老人の日の記念事業として、９月15日、今年５月に百歳を迎えた高坂ミチさん（水口）に、内閣総理大臣からお祝い状と記念品が贈呈されました。記念品を受け取ると、高坂さんは笑顔で感謝を述べました。

若葉のふるさと協力隊が来村

村の生活・文化を体験しました

村は、村民が若者と一緒に活動し、地域を活性化することを目的に、地球緑化センターのふるさと協力隊事業に協力しています。ふるさと協力隊事業とは、農山村に興味・関心を抱く若者が、実際に地域で生活し、活性化活動を行うというものです。

活性化活動を体験するプログラム「若葉のふるさと協力隊」に参加した19歳～22歳の8人の学生は、8月24日～28日の5日間を村で過ごし、村内の祭事や生活、文化を体験しました。

参加した学生は「地域の人の暖かさを感じました」「人と人との繋がりの大切さに改めて気づかされました」など、村民との触れ合いが新鮮に感じられたようです。また、「ご飯の量に驚きました」と、村民の手厚いおもてなしに驚く一面もありました。





上＿富田八朔豊年踊りに参加しました／下＿最後に村民を迎えて発表会を行いました

投票日は10月22日です

第48回衆議院議員総選挙

投・開票日　10月22日（日）

投票できる人　平成11年10月23日までに生まれた人または29年7月9日までに転入して選挙人名簿に登録されている人。

投票時間　7時～19時

【期日前投票】

期間　10月11日㈬～21日㈯
8時30分～20時

今回の選挙から衆議院議員総選挙と国民審査の期日前投票が、公示日翌日の11日から両方の投票を行うことができます。

場所　役場村民ホール

問 村選挙管理委員会☎㊾3111

鮫川村民ゴルフ大会結果

村体育協会主催の村民ゴルフ大会は、9月10日、棚倉ステークスカントリークラブ(棚倉町)を会場に開催されました。大会には村民や村関係者49名が参加し、腕を競いました。結果は次のとおりです。(敬称略)

【一般の部】

優勝	関根昭弘	(戸草)
準優勝	齋須大	(新宿)
3位	吉田修	(上野町)
4位	金澤剛士	(大塩)
5位	吉田初男	(楢久保)
6位	青戸広行	(彦次郎)

【シニアの部】

優勝	高坂勝己	(中)
準優勝	鈴木一良	(新宿)
3位	芳賀正訓	(江竜田)

【レディースの部】

優勝	関根マリ子	(赤柴)
準優勝	松本由子	(道少田)
3位	鈴木美智子	(大塩)

教育長コラム

私の子ども心に強烈に残っている一枚の絵があります。その絵は白い長襦袢を身にまとった若い女性が井戸水を汲み上げては冷水を体にかけていました。「なぜ、自分の体に水をかけているの?」

この質問に対し、母親の説明が心に残っています。それは病弱でわがままに育つ子を立派な人に育てようとする少年時代の乃木希典陸軍大将の親心でした。

半世紀以上を経た今、鮫川村の小さな子どもたちは自分の気に入った絵に夢中になっています。何度も何度も絵本をめくり、お気に入りのところをじっと見ている子どもたち、この絵本から実はたくさんのことを学んでいるのです。特に小さなお子さんのいるご家庭ではやさしくお話をしてあげてください。いろいろな子どもの質問にもゆっくり丁寧に答えたいものです。このように子どもと親がしっかりと向き合うことにより心が安定し、たくさんのことを学ぼうとする土台づくりをしているのです。

奥貫　洋

ぼく・わたしの夢　＜第28回＞　鮫川小6年生



我妻　凌（りょう）さん

プロ野球選手になりたい

将来は山田哲人選手のように、日本代表で活躍できるプロ野球選手になりたいです。野球の練習中はいつも集中しているので、時間がたつのがあっという間に感じます。バッティングで、遠くに球を飛ばせたときがとても楽しいです。６年生最後の大会で、決勝戦進出を目標に、練習からよく声を出して、きちんと考えて動けるように頑張っていきたいです。

なんでも頑張りたい！

いろいろな習い事をしているので、やりたいこともたくさんあります。最近は特にバスケットに力を入れていて、男子の野球部に負けないように頑張りたいです。幼稚園から続けているピアノも、演奏を聴く親の嬉しそうな顔を見ると、もっと頑張ろうという気持ちになります。これから中学生になると、算数が難しくなるので、今から頑張って得意にして、テストで5番以内に入ることが目標です。



渡邊咲来（さき）さん

学校だより（156）

青生野小学校編

自然を満喫した宿泊学習

9月4日（月）～5日（火）、青生野小学校としては最後の全校生での宿泊学習を行いました。

1日目はいわき海浜自然の家に宿泊し、2日目にアクアマリンふくしまを見学しました。自然の家での「野外炊飯」や「ナイトハイク」、アクアマリンふくしまでの「命の教育」「バックヤード見学」など初体験満載の活動でした。野外炊飯ではシーフードカレー作りに挑戦しました。子どもたちの手さばきのよさや進んで仕事を見つけ働く姿が見られ、感心しました。アクアマリンふくしまでは、自分で釣った魚を自分でさばき、「命の大切さ」や「いただきます」の意味をあらためて実感していました。自然を満喫した2日間でした。





ビブリオバトルで盛り上がった横田小とのTV交流授業

9月11日（月）、金山町の横田小学校とTV会議システムによる交流授業を行いました。昨年に引き続き、2度目のビブリオバトルです。

ビブリオバトルは、自分たちで選んだ本を制限時間内で紹介し、その中から最も読みたい本を選ぶという読書ゲームです。子どもたちは、読んでみたいと思う本はどれか、どんな言葉で惹きつけるかなどを考えながら準備をしてきました。横田小学校の子どもたちの選んだ本に興味を持ったり、自分たちの紹介の仕方を褒められたりしながら楽しく活動できました。次回は、1月にお互いの学校や地域を紹介する予定です。



（文・写真／青生野小学校）


多くの参加者がバレーボールを通して親睦を深めました

混合チームで親睦を深める
第13回村バレーボール協会交流親善大会

村内のバレーボールチームおよびバレーボールをこよなく愛する人たちが集まる交流親善大会が8月27日、村農業者トレーニングセンターで開催されました。大会は、小・中学生から大人まで含めた4つの混合チームを結成し、各部門に分かれて試合を行い、合計得点を競います。応援席も盛り上がり、会場には多くの笑顔が溢れました。会長の湯坐千春さん(酒垂)は「地域も年齢も関係なく、皆で盛り上がり楽しい大会になりました」と開催を喜びました。

村内外の多彩な出店で賑わう
さめがわdeマルシェを開催

村内の20・30代の若者が中心となり開かれた「さめがわdeマルシェ」は9月10日、村農業者トレーニングセンターで開催されました。天気にも恵まれ、開始時間前から多くの子ども連れが訪れ、手作り雑貨の販売、子どもたちも参加できるワークショップ、プラネタリウム、軽食やスイーツの販売などさまざまな種類の店が並びました。救護室や授乳室を設けて、子ども連れでも安心して楽しめる配慮も来場者に喜ばれ、会場は終日賑わいをみせました。


会場は朝から多くの来場者でにぎわいました


来場者にダンスを披露するたんぽぽの家利用者たち

利用者と地区住民がふれあう
第8回鮫川たんぽぽの家感謝祭

社会福祉法人鮫川福祉会の「第8回鮫川たんぽぽの家感謝祭」は9月16日、たんぽぽの家(岡田)を会場に行われました。会場では利用者と健康運動サポーターによるダンスが披露されたほか、山百合レクダンスなどによる踊りや奥州ずっこけ隊のよさこいなど多数の催しが行われ、来場者を楽しませました。また、焼きそばやかき氷などの屋台や缶バッチ作りなども行われ、利用者や子どもたちの笑顔あふれる感謝祭となりました。

五穀豊穣などを願う
西山地区と富田地区で豊年踊り

五穀豊穣や家内安全などを祈願する豊年踊りは8月26日(富田)と9月2日(西山)、村内の2地区でそれぞれ行われました。このうち、「西山豊年踊り」は旧西山小学校校庭で行われ、仮装した子どもやお年寄りが、太鼓や笛の音色に合わせて楽しく踊りました。今年はアニメのミニオンズやお笑い芸人のブルゾンちえみなど、力の入った仮装が会場を盛り上げ、フランクフルトや焼き鳥、かき氷などの出店も多く、夏の最後に思い出を作りました。


仮装をしながら踊り歩く「西山豊年踊り」

ほっとニュース



キャプテンの水野陽亮君(左)と副キャプテンの舟木玲王君(右)

鮫川スポ少野球部が県大会民報杯で３位
９月４日鮫川小学校で表彰式

鮫川スポーツ少年団学童野球部は、7月29日から31日に行われた福島民報旗争奪第28回福島児童野球選手権大会に出場しました。各地区の代表チームが集まる中、鮫川野球部は大会６連覇中の小名浜少年野球教室(いわき市)を破り準決勝まで勝ち進みました。準決勝で惜しくも敗れましたが、県大会３位という快挙を成し遂げました。キャプテンの水野陽亮君は「日頃の練習の成果を出して、県大会3位という結果を残せて嬉しいです」と、喜びの声を寄せました。

村の食材を使った料理を披露
「まめで達者な料理教室」を開催

村は、村の魅力の発信と、都市と農村の交流のさらなる進展を目的に、出張料理教室「まめで達者な料理教室」を９月２日、東京都北区の赤羽文化センターで開催しました。教室には32人が参加し、村食生活改善推進員「ひまわりの会」を講師に、北区健康づくり栄養グループ「食彩」メンバーの協力のもと、村内産食材を使った田舎料理を作りました。出来上がった凍み餅やおからのサラダなどは参加者に好評で、「また参加したい」という声が多く聞かれました。



参加者は凍み餅などの見慣れない食材に興味深々でした



8月30日に鮫川村チームへ激励金交付式が行われました

あと一本がでず、川俣町に惜敗
第11回福島県市町村対抗軟式野球大会

県市町村対抗軟式野球大会に出場した鮫川村チームは９月16日、県営あづま球場で１回戦で川俣町と対戦しました。鮫川チームは一回、三回に走者を得点圏に進め、チャンスを迎えますが、あと一本が出ませんでした。対して、川俣町は二回に１点を先制します。鮫川村は続くピンチをしのぎ切りましたが、好投する相手投手を最後まで打ち崩すことが出来ず、試合は０対１で惜敗しました。最後まで接戦を繰り広げた両チームのプレーに拍手が送られました。

献上米いよいよ収穫
鈴木寛重さんの献穀田で新嘗祭抜穂祭

５月に苗を植えた鈴木寛重さん（馬場）の献穀田は、９月22日に、無事に収穫を迎えることができました。収穫に先立って、９月16日に抜穂祭が執り行われました。鈴木さんは今回初めて育てた品種「里山のつぶ」について、「素晴らしい出来です。長雨の前に穂を結んだのが良かったのだと思います。穂も大きく、鮫川に向いている品種だと感じました」と、献穀米の出来に自信を伺わせます。収穫を終えた新米は、11月に皇居で行われる新嘗祭に献上されます。



抜穂の儀を執り行う鈴木さんとその家族

村民【随想】リレー ── 231

五十嵐　武さん

自然豊かな鮫川村



TAKESHI IGARASHI

いがらし・たけし●1983年11月生まれ。共栄化工株式会社勤務、趣味は釣り。モットーは、いつも一生懸命に。赤坂西野字官沢、33歳。

私は4年前に鮫川村に戻ってきました。現在は妻、今年6歳と4歳になる息子2人、両親、叔父の7人で暮らしています。子どもたちは外遊びが大好きで、家族の誰かが庭に居ればすぐに外に飛び出し遊んでいます。家で飼っている犬の散歩にもついていき、蝉の抜け殻を拾ったり蛙を見つけたりと、自然いっぱいな環境でのびのびと育っています。

鮫川村に戻ってきて思ったことは、幼い頃から知っている近所の方々が気さくに話しかけ接してくれる温かい地域性が、子どもたちが成長するにあたって良い影響を与える鮫川村の1つの魅力だということです。

私は幼い頃から釣りが好きで、時間がある時は渓流釣りを楽しみ、妻と息子たちと海釣りに行くこともあります。私が幼い頃から釣りをしていた鮫川で、息子たちに渓流釣りを教えることが今からの楽しみの1つです。

現代は、核家族化が多く近隣との関わりが減ってきている世の中になっていると思います。昔ながらの変わらない鮫川村の温かい地域性を子どもたちの世代まで受け継いでいけたらと思います。■

次号は、小林利之さん（赤坂中野字宿ノ入）にバトンタッチ！

俳句

橋壊れ台風一過西東　中井　恒峯

久々の時間短かし布団干す　北條素人坂

暑さ中コスモスの咲く季節来る　松本　精一

秋の空那須の連山露天風呂　前田　縫子

昼寝する見分けがつかぬ児等の足　山本　恵子

蕎麦畑鳥追いテープキラキラと　斎須　信子

里近く節黒仙翁（ふしぐろせんのう）咲き盛る　鈴木　米子

玉音のまざまざと現る（あ）敗戦忌　山本五十鈴

短歌

穂揃うて青田が萌黄に彩られ白金色の花のこぼれる　鈴木イミ子

折り合わぬ言葉をおさめ振り仰ぐ山の頂に一片の雲　須藤　幸子

暮れかけた山の峠の栗の実を持ちて啼き行く雁の一羽は　佐藤　春枝

天文台通信

鮫川天文愛好会だより　vol. 7



230万光年の彼方から輝くアンドロメダ銀河

秋の天体の代表はM31アンドロメダ銀河です。地球からの距離は230万光年で、銀河の大きさは10万光年ほどです。地球から見えるアンドロメダ銀河は非常に大きく、見かけの大きさは満月の５倍もあります。10月中旬になると東の空高く昇っていますので、月のない暗い夜空では肉眼でもその存在を確認することができ、7倍程度の双眼鏡を使用するとアンドロメダ銀河が楕円形であることが分かります。鹿角平天文台の望遠鏡では低倍率でも、視野いっぱいの広がる銀河を見ることができます。

【観望の予約・問い合わせ先】
村農林商工課☎0247㊾3113

第1回
ここから、いっしょに
修明高校鮫川校だより

左の言葉には、「鮫川校のスタッフはこれからも地域の方々の力をお借りしながら、学校を盛り立てていきます」「村の子どもたちにはこれからもこの土地で安心して勉強に励んでもらえるよう、力を尽くします」というメッセージが込められています。

皆さまのお世話になっています。ありがとうございます！

大豆栽培



鈴木寛重さん（馬場）のご指導のもと、１年生が「総合的な学習の時間」の中で大豆栽培に取り組んでいます。



長雨にも負けず、順調に育つ鮫校大豆（左）と指導を受ける生徒（右）

サマーショートボランティア



サマーショートボランティアに参加した５名の生徒に修了証が交付されました。鮫川中出身の佐川竜也さん（２年）は特別養護老人ホーム寿恵園（棚倉町）で、同じく鮫川中出身の芳賀すみれさん（２年）は特別養護老人ホームユーハイムはなわ（塙町）で貴重な体験をさせていただきました。

SUCHEDULE
ゲートボール大会
とき…10月25日（水）
場所…さぎり荘

文・写真／修明高校鮫川校
TEL 49-2029　FAX 49-3109
E-mail shumei-h-samegawa@fcs.ed.jp

務めよと役員に成り気負いせむめぐる職務に全精力を　石井　幸子

巡り来る機構に動じて我が心今年の稲に無常な痛手　須藤シツエ

正座して玉音聞きに夏の昼何年たっても耳に残れる　前田喜三子

盆過ぎし涼しさ続き凌ぎ良く残暑無いまま九月に入る　藤田千代子

吾が里を愛えつ励む友連れてめぐる月日を宝に変える　板橋　源良

八月と言うには寒き長雨に実りの秋を愁いる朝夕　関根キヌ子

山百合の香り漂う夕暮れに六十の手習い寺子屋へ行く　赤坂　和子

稲穂揺れ日毎に金色増す田面長雨低温農家は思案　矢吹　一二

今盛百日紅は吾が世にと庭覆う如夏日に映えて　北條　平

鮫川職場探訪記 - 第４回 -

湯座建設株式会社







1・2_ 村内に造成中の現場。畑付の分譲住宅などおよそ 15 棟が並ぶ予定。若い世代や都市部から来た人が、村の良いところを体感しながら住める場所を計画しています／**3_** 湯座建設は、機材を自前で揃え、「何でもやれる」建設会社です。優秀な工事から、９月に県知事表彰も受賞しました

地域のために、行政でできないことをやっていく

湯座建設㈱は、住宅建設だけでなく橋梁工事や解体工事、農地整備など様々な分野で活躍している建設会社です。職場の特徴について「一人一人の強み、個性を活かせる職場です。若い人の教育にも力を入れています」と代表取締役の湯坐好郎さんは話します。

好郎さんは商工会、青年部、議会議員などの経験を振り返り、「村を維持していくには、行政だけに頼らず、民間企業もできることから実行することが重要」と考え、地域に恩返しをしたい、という強い思いを形にしてきました。「大きな目標をいかに実現させるか、道のりは大変ですが、やりがいを感じます」と好郎さんは笑います。

これからも湯座建設㈱を応援お願いします。

代　表　湯坐　好郎
従業員　22 名
所在地　大字赤坂中野字取上 11 番地２
電　話　49-2269　FAX　49-2624

若者の広場　No.154

Young Plaza

藤田好範さん

★今、夢中になっていることは何ですか？

体力づくりを始めました。最近になって集落のソフトボールチームに入ったので、試合や練習でちゃんと動けるように体を整えています。

★これからチャレンジしてみたいことは何ですか？

体重を落として体型を元に戻したいです。就職して運動する機会も減ってしまい、高校のときから比べて、20kgも増えてしまいました。まずは10kg減を目標に、頑張っていきたいです。

★鮫川村に住んでいて感じることや好きなところは？

良い意味で田舎というところです。たくさんの自然やきれいな星空、地域の人の温かさなどに地元の良さを感じています。

★鮫川村に要望などはありますか？

水道を整備してほしいです。家では山水を利用していて、断水した時など、とても不便を感じます。

また、凍った道路への対応にも力を入れてほしいです。

■

11月は、三瓶健太さん（赤坂東野字広畑在住）の予定です。

水道の整備を頑張ってほしい



ふじた・よしのり
1997年２月生まれ　20歳
Ａ型　みずがめ座
趣味はウインタースポーツ
赤坂西野字岡田

さめがわ人　No.18
Person

和牛の繁殖農家
矢吹光雄さん 矢吹和夫さん

やぶき・みつお（75）
やぶき・かずお（46）
赤坂西野字宮沢

全国の牛は凄かった 村の皆とリベンジ目指したい



9月7日から全国和牛能力共進会が宮城県仙台市で開催されました。本大会は5年に1度開催され、全国から選抜された優秀な和牛が、改良の成果を競い合います。そんな和牛の全国大会に、福島県代表として鮫川村から3頭の和牛が選抜されました。育てたのは矢吹光雄さん、和夫さん親子です。

矢吹さん一家は、親の代から続く和牛の繁殖農家です。光雄さんが牛を育て、和夫さんが会社に勤める傍らで管理などをしています。60年以上に渡り、牛飼いに携わってきた光雄さんは「中学の頃から近くの山へ牛を引いて歩きました。あれから規模も大きくなりましたが、牛への愛情は今も変わりません。震災の時は大変でしたが、それでも愛着のある牛たちを手放すなど考えられませんでした。おかげで、今回のような貴重な経験をすることができ、牛たちに感謝しています」と目を細めます。

共進会に向けた矢吹さん一家と牛のトレーニングの日々は大変なものでした。共進会では、一本の手綱とかけ声のみで牛を手なずけます。朝と夕の1日2回、ほぼ毎日、調教は続けられました。「牛の調教など初めての経験で、とても大変でした。村や農協、地域の人の協力にかなり助けられました」と、和夫さんは調教の苦労について振り返ります。



牛の調教の様子。シ(前進)、バ(止まれ)、サシ(左旋回)の3つの指示で牛を操ります。

全国大会を終えて和夫さんは「全国の和牛改良は想像以上で、福島県の改良が遅れていることを痛感しました。こちらで育てている優秀な系統が、先進地ではすでに親になっています。私たちも種雄牛を勉強して品種改良に力を入れなければいけないと気付かされました。色々と大変なこともありましたが、とても刺激になりました」と話します。

次回の共進会は2022年に鹿児島県で開催されます。矢吹さん一家も5年後に向けて決意を新たにしました。

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ！

ⓘ案内

平成30年・31年度福島県物品購入等競争入札参加有資格者名簿資格審査申請

受付期間　10月2日㊊～31日㊋(土・日・祝日を除く)

受付時間　9時～11時30分、13時～16時30分

受付場所　県庁入札用度課または各地方振興局

その他　詳細は県庁入札用度課HPをご覧ください。

問県庁入札用度課☎024-521-7563

つつが虫病にご注意ください

10月～12月にかけてつつが虫病が多発します。十分に注意してください。

症状　風邪に似た症状、頭痛、関節痛、発熱（38～40℃）、発疹

予防方法　▼草地や山林に入る時は、長袖、長ズボンを着用して素肌の露出を避ける。▼虫よけスプレーを使用する。▼作業後は入浴やシャワーなどで、身体を洗い流す。

問県南保健福祉事務所感染症予防チーム☎0248㉒6405

消費税の軽減税率制度に関する説明会を実施します

日時　11月6日(月)10時30分～12時

場所　棚倉町図書館

内容　軽減税率制度・事業者支援措置について

その他　白河市産業プラザ人材育成センターの説明会に参加することも可能です。詳しくはお問合せ下さい。

問白河税務署法人課税部門☎0248㉒7111

不正軽油撲滅強化月間

県は、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでいます。皆さまの御協力と情報提供をお願いします。

問県庁総務部税務課☎024-521-7205／県南地方振興局県税部☎0248㉓1519

福島県不妊セミナー

日時　10月21日㊏13時30分～16時

場所　県中保健福祉事務所

対象者　不妊治療を受けている方や不妊治療を考えている方、その家族

内容　▼講話「知っておきたい不妊治療」講師　福島県立医科大学　菅沼亮太医師▼交流会　会津中央病院　渡部和枝（不妊症看護認定看護師）

申し込み　10月17日㊋まで

毎月8日は「歯の日」です

防災無線でむし歯予防を呼びかけます。

10月の担当は――

青生野小学校
保健給食委員会

藤田紗輝さん(6年)
長井友莉花さん(5年)



■電話番号

鮫川村役場（代表・総務課）
☎　0247-49-3111
FAX 0247-49-2651

災害時対応電話（停電・災害時）
49-3302・49-3303

住民福祉課	49-3112
農林商工課・農業委員会	49-3113
地域整備課	49-3114
議会事務局	49-3115
出納室	49-3116

【その他の機関】

教育委員会	49-3151
図書館	29-1150
農業者トレーニングセンター	49-3295
学校給食センター	49-2113
こどもセンター（保育園・幼稚園）	29-1010
保健センター	29-1231
国保診療所	49-2028
ほっとはうす・さめがわ	48-2555
手･まめ･館	49-2556
山王の里	48-2848
ゆうきの郷土	49-3474

■鮫川村公式ホームページ
http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/

■今月のあおぞら号
昼バス運行日
10月4日、5日、6日、16日、18日、19日、20日、23日

■今月の納税
村県民税（第3期）
国民健康保険税（第5期）
介護保険料（第5期）
後期高齢者医療保険料(第3期)
※納期限：10月31日(火)

information

に、県中保健福祉事務所児童家庭支援チームへ電話でお申し込みください。
問県中保健福祉事務所児童家庭支援チーム☎024-75-7810

農業日誌・ファミリー日誌・新農家暦の販売

一般財団法人農林統計協会発行の「農業日誌」「ファミリー日誌」「新農家暦」を販売します。購入を希望する人は、10月31日㈫までに役場農林商工課へ申し込んでください。
価格 ▼農業日誌…150円(税込み)(B6判)▼ファミリー日誌…1500円(税込み)(B5判)▼新農家暦…520円(税込み)(A5判)
※10月31日以降の申し込み分は、送料が加算されます。
その他 発行は11月中旬ごろです。申し込みをした人に通知をしますので、代金を添えて役場農林課で受け取ってください。
問村農林商工課☎㊾3113

相談

行政相談週間


近藤保弘さん

10月16日㈪から22日㈰までの一週間は「行政相談週間」です。村を担当する行政相談員には、近藤保弘さん(新宿)が総務省から委嘱されています。行政相談員は、役所や特殊法人などの仕事に関する苦情や要望などについて相談に応じ、その解決を手伝います。
行政相談員は自宅などで相談に応じているほか、行政相談週間の期間中、相談所を開設します。
日時 10月19日㈭10時～15時
場所 村公民館
問村総務課総務係☎㊾3111

原子力損害賠償にかかる個別相談

実施日時 10月19日㈭13時30分～15時45分
場所 白河商工会議所
その他 相談は事前に電話で予約が必要です。相談日には東京電力が送付する「賠償金御請求書②」一式と、可能なら家屋の写真や建築図面などをご持参ください。
問県庁原子力損害対策課☎024-521-8216

10月1日～7日は「公証週間」です

遺産相続や任意後見契約のほか、各種の契約(金銭消費貸借・不動産貸借・離婚に際しての慰謝料や養育費など)の問題は、後々にもめごとを引き起こしがちです。遺言や当事者間の取り決めを公正証書にしておけば、トラブルを防止し、権利や財産を守ることができます。相談は無料です。お気軽にご相談ください。
問白河公証役場☎0248-㉓2203

修明高校鮫川校-芸術鑑賞会
学　校　寄　席

修明高校鮫川校では「心豊かで創造力に富んだ人間を育成するとともに、鮫川村の皆様に本校を知っていただく」ことを目的に、毎年芸術鑑賞会を開催しています。今年は3人の落語家さんを招き、寄席を行います。ぜひ、この機会に落語の楽しさに触れてみませんか。

日時　10月30日㈪　12時30分～15時
場所　修明高校鮫川校体育館
参加費　無料
内容　▶寄席入門(桂文三)▶新作落語(春風亭柏枝)▶落語体験コーナー▶色物(林家正楽・紙切り)▶上方落語(桂文三)

演者紹介



桂　文三(かつら・ぶんざ)
大阪府柏原市出身。平成3年に五代目桂文枝に入門。「つく枝」を名乗る。平成21年に桂派の由緒ある名跡である「文三」を襲名。そのキャラクターと風貌から「踊る肉団子の甘酢あんかけ」の愛称で親しまれている。



林家　正楽(はやしや・しょうらく)
東京都目黒区出身。昭和41年に林家小正楽(二代目林家正楽)に入門。昭和51年、「林家一楽」で初高座。昭和63年に二代目林家小正楽を襲名。平成12年、三代目林家正楽の大名跡を襲名。海外公演など文化交流にも積極的に貢献している。



春風亭 柏枝(しゅんぷうてい・はくし)
北海道札幌市出身。平成13年七代目春風亭柳橋に入門、「べん橋」を名乗る。平成16年に七代目春風亭柳橋没後、七代目春風亭柏枝門下となる。平成17年、二つ目昇進。平成26年に真打昇進、八代目春風亭柏枝を襲名する。

※学校ではスリッパを用意しておりますが、数に限りがありますので、上履きの御準備をお願いします。
問修明高校鮫川校☎㊾2029

Book 図書の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介
鮫川村図書館☎ 29-1150

第3土曜日は 家族一緒に読書の日



ざんねんないきもの事典

今泉忠明監修、高橋書店出版

たくさんの生き物の中には、すごい能力をもつものもいますが、中には「どうしてこうなった!?」というものもいます。この本では、進化した結果、なぜかちょっとざんねんな感じになってしまった生き物たちを紹介します。



少しのことでラクになるごはんづくり帖

ワタナベマキ監修、大和書房出版

「休日」がないのが、毎日のごはんづくり。だからこそ、もっとスムーズに、ラクにできるように見直してみませんか?著者が、本当にやっている食卓の工夫。常備菜、冷凍法、味付け、etc…を紹介しています。

火	水	木	金	土
3	4 ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保] ●昼バス運行日[あ]	5 ●昼バス運行日[あ]	6 ●献血… 9:30 ～ 13:00[手まめ館]、14:30 ～ 17:00[役場駐車場] ●昼バス運行日[あ]	7
10 ●乳がん検診	11 ●やまゆり保育室[こ]	12	13	14
17	18 ●やまゆり乳児室[こ] ●おはなしの森… 16:00～[図] ●昼バス運行日[あ]	19 ●乳児健康相談 ●保育参観デー[こ] ●昼バス運行日[あ]	20 ●心配ごと相談会… 13:00～15:00[公] ●乳がん検診 ●保育参観デー[こ] ●昼バス運行日[あ]	21 ●壇の岡祭／鮫川中 ●保育参観デー[こ]
24 ●やまぶきの会… 10:00～15:00[保]	25	26 ●わくわく図書館広場… 16:00～[図]	27	28 ●さめっ子フェスティバル／鮫川小
31	11/1	2	3 文化の日 ㊡和田医院(棚倉町) ☎33-2012 ●少年主張大会 ●音楽発表会	4
7	8 ●やまゆり保育室[こ]	9	10	11

㊡＝休日当番医　[公]＝公民館　[図]＝図書館　[保]＝保健センター　[ト]＝農業者トレーニングセンター　[こ]＝こどもセンター　[あ]＝村営バス「あおぞら号」

※行事などの日程は都合により変更になる場合があります。

◆10・11月の筋力づくり教室

開講時間　10：00 ～ 15：00[保]

Aコース（渡瀬･富田･赤坂中野）	10/ 3㊋、 11/ 1㊌
Bコース（渡瀬・青生野）	10/ 6㊎、 11/ 7㊋
Cコース（赤坂東野・石井草）	10/11㊌、 11/ 8㊌
Dコース（西山）	10/17㊋、 11/ 9㊍
Eコース（赤坂西野・赤坂中野）	10/25㊌、 11/14㊍

問住民福祉課福祉係☎㊾３１１２

◆村関連施設営業時間

施設名	営業時間	定休日
村国保診療所	9：00 ～ 12：00 14：00 ～ 17：00	土・日・祝日
村図書館	9：30 ～ 18：00	月曜・祝日
村農業者トレーニングセンター	9：00 ～ 22：00	月曜・祝日
村農産物直売所 手・まめ・館	9：00 ～ 18：00	第一水曜
手まめカフェ	10：00 ～ 18：00	水・木曜
村民保養施設さぎり荘	9：30 ～ 21：00	水曜

編／集／後／記　■村の少子化について、皆さんはどのように捉えたでしょうか。皆さんの考える機会となれるように、これからも様々なことについて、広報を通じて問題提起していきたいと思います（西橋）

お誕生

8月届け出分



菊地　癒乃（ゆの）・女
平29.8.9生
住所…下
保護者…涼太・舞



関根　悠斗（ゆうと）・男
平29.8.23生
住所…大平
保護者…隆一・ジェニファー

おくやみ

8月届け出分・敬称略

住所	氏名	月日	年齢
水口	鈴木テツ	8.3	93歳
東前田	斎藤政夫	8.11	76歳
滝	石井節子	8.13	92歳
宿ノ入	円谷千代	8.18	68歳

人の動き

9/1現在・（　）は前月比

人口	3,555人	（−2）
男	1,785人	（−4）
女	1,770人	（+2）
世帯	1,126戸	（−4）

寄付寄贈

8月受理分・敬称略

■**社会福祉事業のために[金員]**…鈴木勲（伏木田）　佐藤元治（森ノ前）　石井清一（滝）　郡山ヤクルト販売株式会社（代表取締役・長谷川進）

■**ひだまり荘へ[紙おむつ]**…菅野甲子夫（青生野）

■**ひだまり荘へ[タオル]**…水野一美（追木）

■**ひだまり荘へ[食器類]**…緑川幸子（浅川町）

※お誕生、おくやみ、寄付・寄贈欄への掲載を希望しない人は、届け出の際に申し出てください。

●おわびと訂正

本誌9月号14ページ「ほっとニュース」で誤りがありました。

（**正**）芳賀光義　（**誤**）芳賀光善

また、同じく9月号23ページ「寄付寄贈」の「植村實」さんの住所に誤りがありました。

（**正**）滑石　（**誤**）新宿

おわびして訂正します。

October 10 暮らしのカレンダー

日	月
10/1 第1日曜日は環境美化の日	2
8 ㊡あらまちクリニック(棚倉町)☎33-8018	9 体育の日 ㊡和田医院(棚倉町)☎33-2012
15 ㊡つちやクリニック(塙町)☎43-2250 ●第30回高原の鮫川うまいもの祭り［鹿角平観光牧場］	16 ●昼バス運行日[あ]
22 ㊡金澤医院(矢祭町)☎46-2312 ●学習発表会／青生野小 ●第48回衆議院議員総選挙投・開票日	23 敬老の日 ●昼バス運行日[あ]
29 ㊡深谷クリニック(棚倉町)☎33-3223 ●秋季一斉清掃 ●親子読書教室…10:00～[図]	30 ●子宮頸がん・骨粗鬆症検診…13:00～14:00[保]
5 ㊡車田病院(塙町)☎43-1019 第1日曜日は環境美化の日	6

◆村国保診療所送迎車運行日

曜日	月	火	水	木	金
地区	村内全域	赤坂西野 西山	赤坂中野 東石	青生野	富田 渡瀬

※送迎を希望する人は、前日までに申し込みください。

問村国保診療所☎㊾２０２８

◆乳幼児健診日

3～4カ月児健診※	10/16㊊
10カ月児健診※	10/19㊍
1歳6カ月児健診	10/12㊍
3歳児健診	11/2㊍

※お母さんの口腔健康相談も行います

問住民福祉課福祉係☎㊾３１１２

修明高校鮫川校より

■日頃より鮫川校の教育活動にお力添えをいただき、誠にありがとうございます。村役場様のご厚意により、今月号より定期的に鮫川校の様子をお知らせすることができることとなりました。どうぞよろしくお願いいたします。（分校長・猪俣）

平成29年10月1日発行（毎月1日発行）
第762号（昭和27年9月創刊）

発行／福島県鮫川村　編集／鮫川村役場総務課
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿39番地5

福島県最大級のBBQさめがわで開催！

第30回 高原の鮫川 うまいもの祭り！



鮫川村ご当地キャラ ゆうきくんがやってくる！

2017 10/15（日）

開催時間 AM9:45～PM2:00
（開場 AM9:30）

鹿角平観光牧場
福島県東白川郡鮫川村大字青生野字世々妻343番地

小雨決行

第30回記念 大じゃんけん大会

うまいもの祭り30回の節目を記念して大じゃんけん大会を開催します！
イベント中3回開催し、豪華地場産品をゲットするチャンス！お楽しみに！！



鹿角平 草原のトライアスロン大会

先着8チーム（1チーム5人）

参加型イベント

優勝賞金	50,000円	賞品 地場産品
2位賞金	30,000円	賞品 地場産品
3位賞金	20,000円	賞品 地場産品
参加賞		賞品 地場産品

参加者募集中

入場者を対象にした大抽選会！スーパー★ラッキー
豪華賞品が当たる！ナンバーズ

■主催／第30回高原の鮫川うまいもの祭り実行委員会　■共催／鮫川村ふる里振興協議会
後援／有鹿角平観光センター・福島民報社・福島民友新聞社・ラジオ福島・福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・ふくしまFM
協力／交通安全協会鮫川支部・鮫川村シルバー人材センター

前売りチケット制（全席指定）
お肉たっぷり！ お一人様 満腹バーベキューセット 2,500円
チケット発売開始 9月20日（水）
※チケット払い戻し、再発行はできません。

お問合わせ チケット販売所
鮫川村商工会（事務局）
TEL. 0247-49-2171
FAX. 0247-49-2541
E-mail: samekyo@coral.ocn.ne.jp
URL: http://www.vill.samegawa.fukushima.jp/（鮫川村ホームページ）